

令和2年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取組を行っている。令和2年度の収納状況は、次の表のとおりである。

収納実績は、調定額 5,588,776千円に対し、収入済額は 5,334,404千円、不納欠損額 14,290千円、収入未済額 240,082千円、合計収納率は 95.45%となり、現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.52%を 0.30ポイント上回る 97.82%、滞納繰越分の収納率は、38.65%を大きく上回る50.33%となった。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 162,749千円の減、滞納繰越分で 10,403千円の減、合計で 173,152千円の減となった。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち8科目で合計が前年度以上となった。主なものは、国民健康保険税が2.22ポイント、奨学資金償還金が1.13ポイント、水道料金が0.46ポイント、上回った。

収入未済額の各科目の合計は 240,082千円となり、収納率の向上により前年度と比較して 32,619千円の減となった。内訳として、市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約6割を占めている。

令和2年度収納実績

(単位：千円、%、pt)

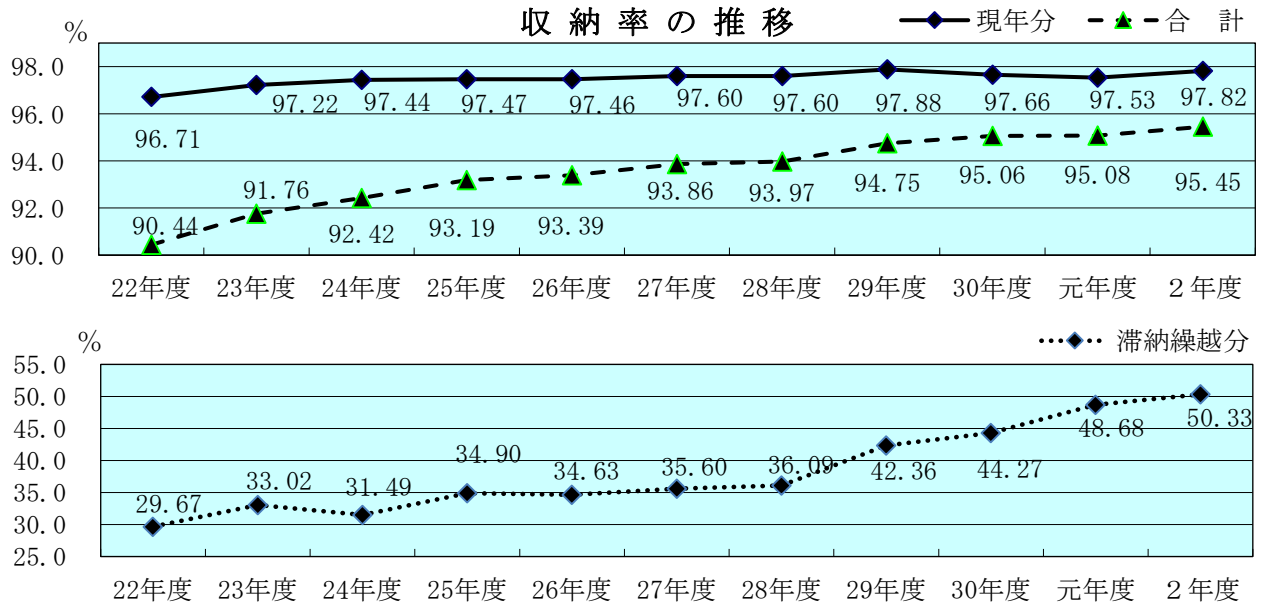
収入科目	年度	令和2年度				令和元年度		収納率比較 (R2-R1)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		2,754,788	2,669,199	7,218	78,371	96.89	89,896	96.70	0.19
保育料		41,320	39,954	79	1,287	96.69	2,032	97.15	△0.46
住宅使用料		95,565	79,604	0	15,961	83.30	15,921	84.21	△0.91
奨学資金償還金		43,063	35,948	0	7,115	83.48	7,793	82.35	1.13
学校給食費		93,816	93,803	0	13	99.99	0	100.00	△0.01
国民健康保険税		533,016	464,012	4,274	64,730	87.05	80,327	84.83	2.22
後期高齢者医療保険料		228,400	227,680	0	720	99.68	905	99.60	0.08
介護保険料		613,227	605,130	2,359	5,739	98.68	6,017	98.63	0.05
ケーブルテレビ使用料		362,658	362,452	26	180	99.94	208	99.92	0.02
農業集落排水 下水道事業		178,402	163,384	42	14,976	91.58	15,205	91.38	0.20
水道料 (企業会計3月末)		644,521	593,238	293	50,990	92.04	54,397	91.58	0.46
合計 ①	現年度分	5,309,851	5,194,017	0	115,834	97.82	134,971	97.53	0.29
	滞納繰越分	278,925	140,387	14,290	124,248	50.33	137,730	48.68	1.65
	計	5,588,776	5,334,404	14,290	240,082	95.45	272,701	95.08	0.37
前年度 実績 ②	現年度分	5,472,600	5,337,629	0	134,971	97.53			
	滞納繰越分	289,328	140,835	10,763	137,730	48.68			
	計	5,761,928	5,478,464	10,763	272,701	95.08			
前年度 比較 ①-②	現年度分	△162,749	△143,612	0	△19,137	0.29			
	滞納繰越分	△10,403	△448	3,527	△13,482	1.65			
	計	△173,152	△144,060	3,527	△32,619	0.37			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

令和2年度における現年度分の収納率は、97.82%であり、前年度と比較して0.29ポイントの増となった。また、滞納繰越分の収納率は50.33%であり、前年度と比較して1.65ポイントの増となり、6年連続で前年度を上回った。

合計の収納率は95.45%と前年度より0.37ポイントの増となり、10年連続で前年度を上回った。



(3) 不納欠損の状況

市税及び国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が714件・5,761千円、執行停止3年による消滅が722件・5,731千円、合計では1,436件・11,492千円となった。

市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、377件・2,799千円で、主なものは、介護保険料が303件・2,358千円、水道料金が40件・293千円となった。

2 令和2年度の収納対策の取組

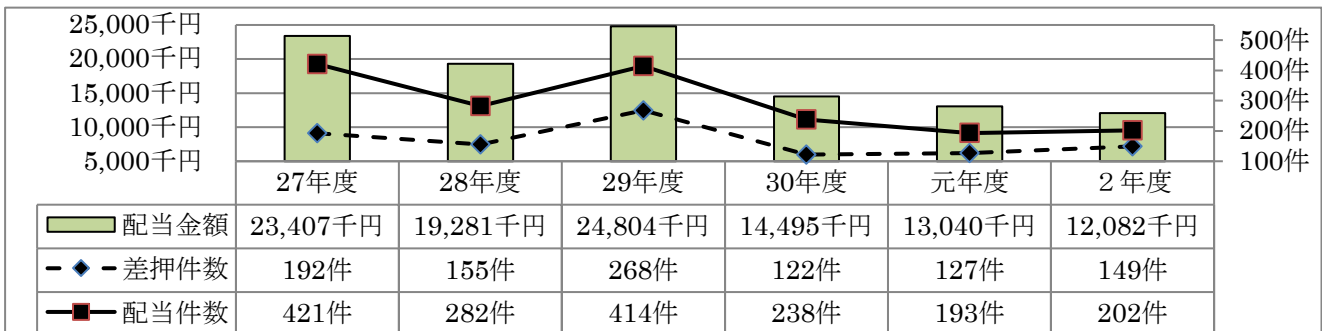
(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を7月、11月の年2回実施し、その各翌月を徴収強化月間と位置付け、担当部課長等又は応援部課長等と担当者による臨戸催告を実施した。

(2) 滞納処分の状況

最近6年間における差押件数、配当件数及び配当金額は、次の表のとおりである。

滞納処分の推移



(3) その他の収納対策

税務課窓口のテレビ画面やチラシ等の紙面を通じ、納期内納付の啓発活動を行った。

また、滞納整理の研修会を開催し、スキルアップを図るとともに、関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を行いながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めた。その取組の中で税務課と健康長寿課が連携し、介護保険料について所得税還付金の差押を執行した。